

5. リードケーブルの取扱い方法

5-1. リードケーブルの取出し方向

製品出荷時のリードケーブルの取出し方向は、水平方向で固定されています。

ご使用時にリードケーブルの取出し方向を変更することは可能ですので、次の手順に従ってください。

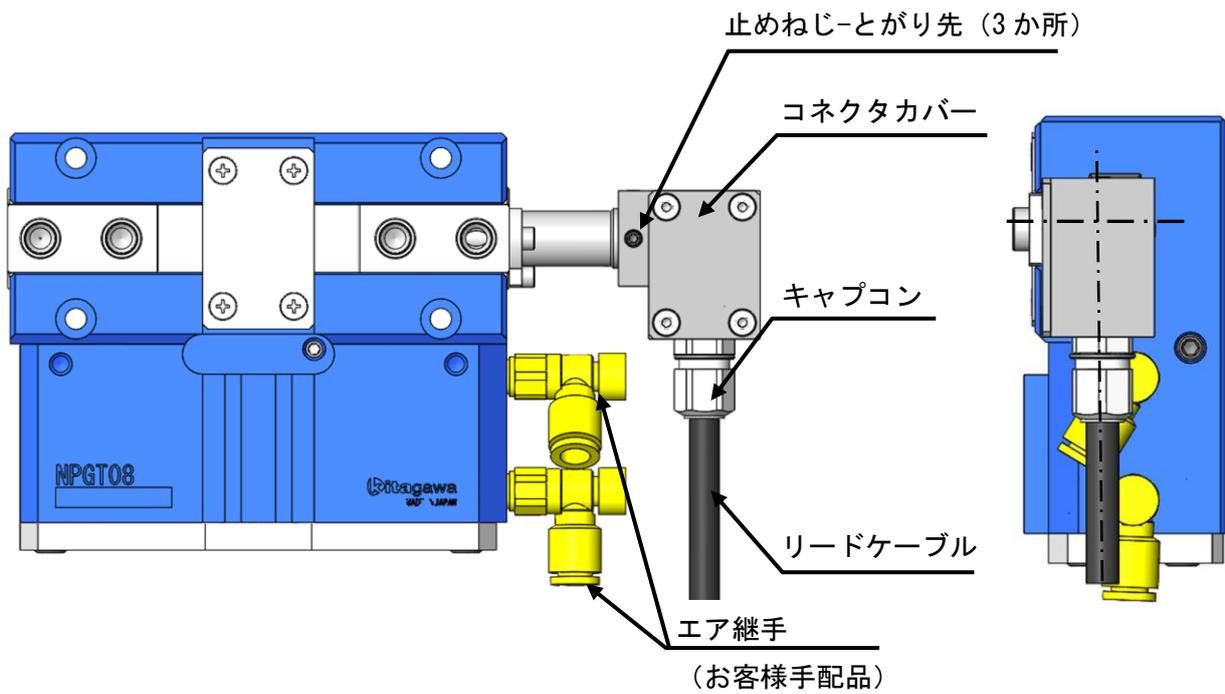
留 意

- エア継手を取付ける際は、空圧力を徐々に上げていき、ジョーが動作したときの圧力で上昇を止めて、その圧力でジョーを開閉させ、エア継手とコネクタやリードケーブルが干渉しないことを確認してください。(干渉するとグリッパが損傷する可能性があります)
- 干渉する場合は、リードケーブルの取出し方向を変更してください。

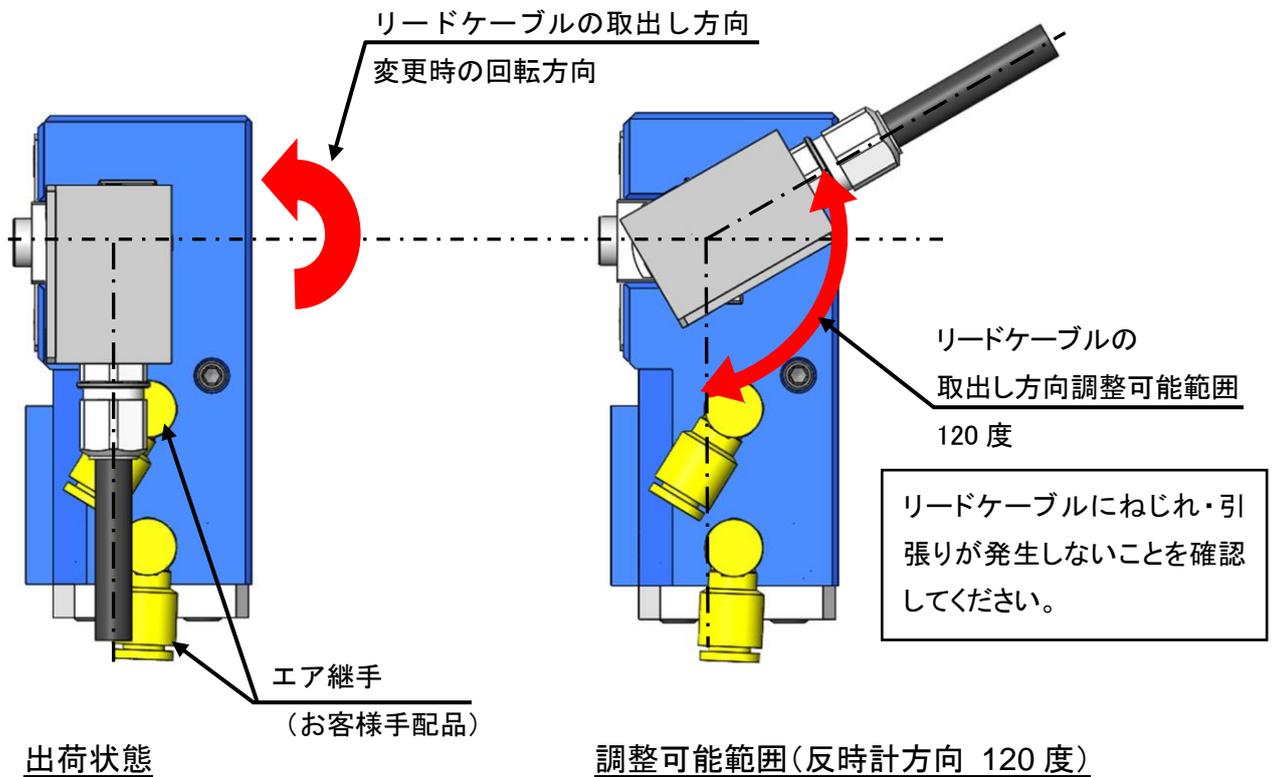
- ①、リードケーブルを手で持ち、ねじれないよう支えながら、キャプコンを緩める。
(緩めないまま、作業を進めると、ケーブルが引っ張られ断線する可能性があります)
- ②、3カ所の止めねじとがり先を緩める。
- ③、コネクタカバーを外し、内部のリードケーブルにねじれ・引張りが発生しないことを確認しながら、コネクタを出荷状態から反時計回りの方向に回す。
(出荷状態から反時計回りに 120 度までの範囲内で任意の角度に設定してください)
- ④、リードケーブルの取り出し方向が決まったら、止めねじとがり先を 3カ所締める。
(推奨トルク 0.6 N・m)
- ⑤、リードケーブルがねじれないように支えながら、キャプコンを締める。
(推奨トルク 0.2 N・m)
- ⑥ Oリングが溝に正しく入っていることを確認し、コネクタカバーを取付ける。
(Oリングのはみ出しや脱落により内部に水が浸入し、漏電する可能性があります)
- ⑦ 空圧力供給口から空圧力を供給するが、0 MPa から徐々に空圧力を上げること。ジョーが動き出した時の圧力に設定し、ジョーを動作させる。この時、エア継手とコネクタやリードケーブルが干渉しないことを確認する。

留 意

- グリッパを使用中に、コネクタを回転させる方向に外部から負荷がかからないようにしてください。(コネクタが損傷する可能性があります)
- リードケーブルの取出し方向変更後、ジョーを開閉した際に、エア継手とコネクタが干渉しないことを確認してください。(干渉するとグリッパが損傷する可能性があります)



出荷時のリードケーブルの取出し方向

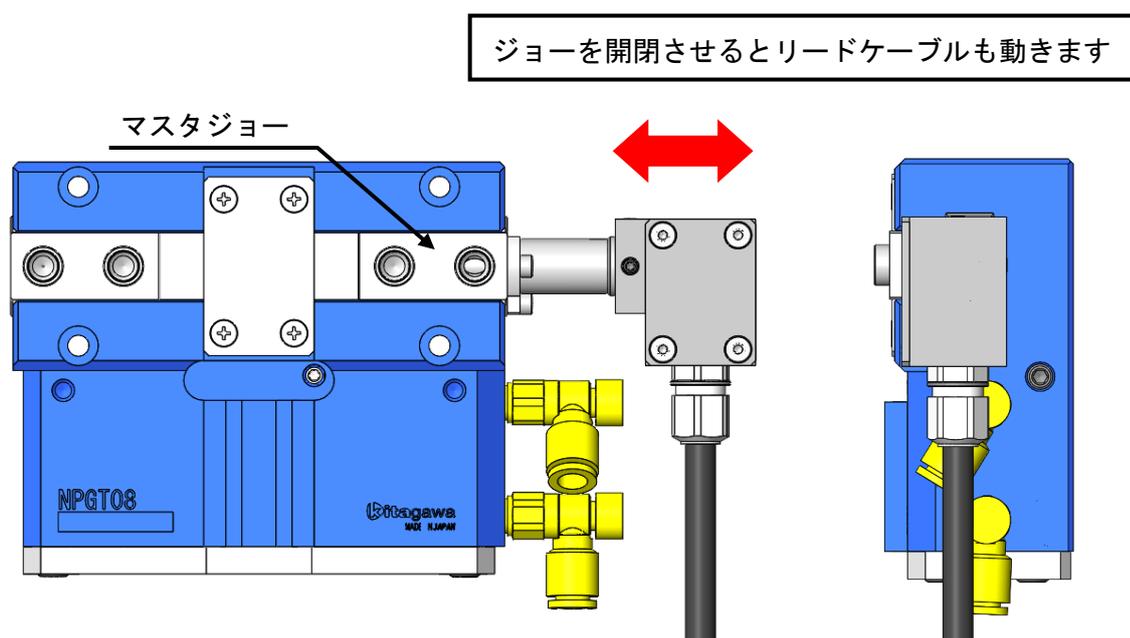


5-2. リードケーブルの固定方法

リードケーブルが繰り返して屈曲、捩じり、引張りが加わりますと、ケーブルが断線して故障する原因となりますので、使用開始時にはリードケーブル先端のコネクタを利用して、ケーブルに負荷がかからないように固定してください。

また、リードケーブルは、マスタジョーから出ているため、グリッパのジョーを開閉させると一緒に動きますので、これを考慮に入れたうえでリードケーブルを固定してください。

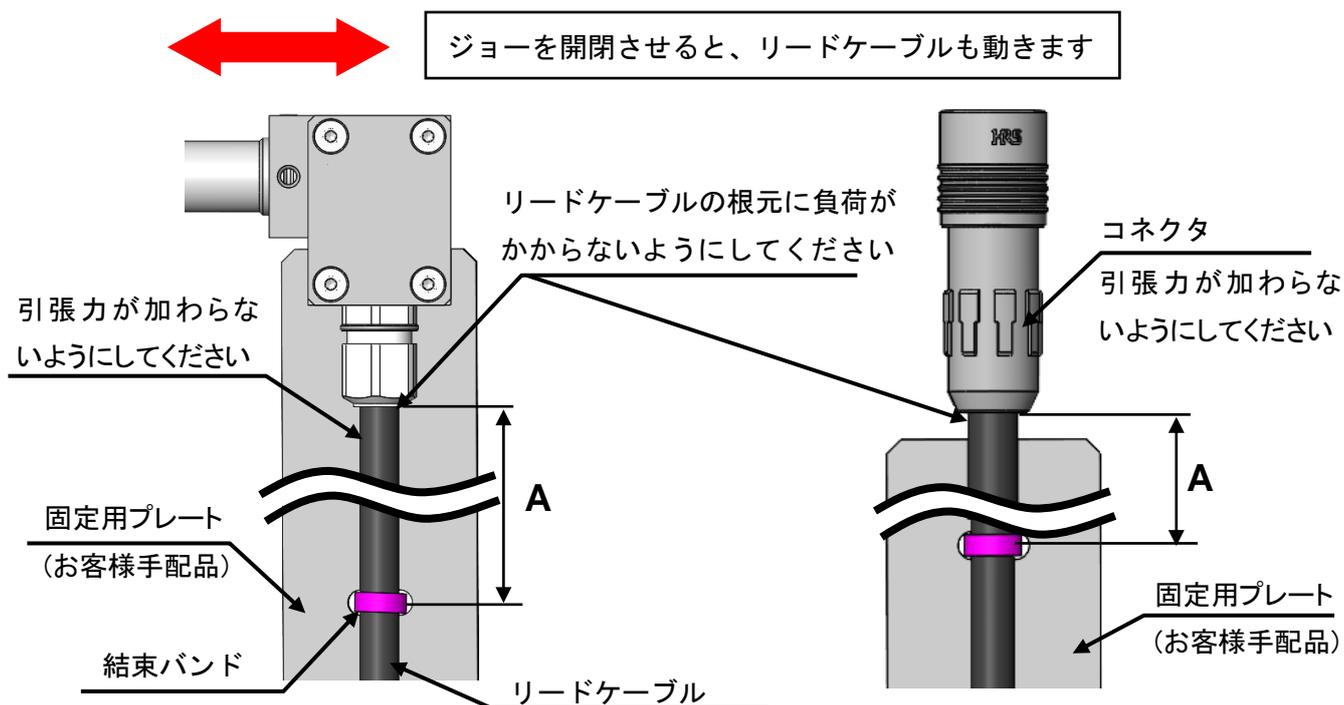
尚、リードケーブルと接続するインターポレータ付ケーブルは、ロボットケーブルを使用していますので、システムの構成上よりケーブルを可動させなければならない場合は、インターポレータ付ケーブルを可動させるようにリードケーブルを固定してください。



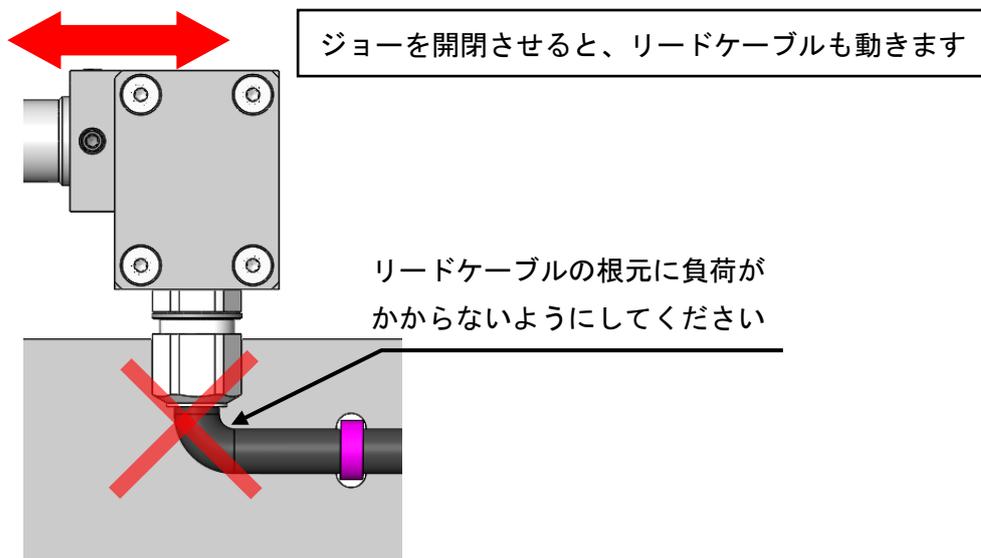
留 意

- 製品使用時にグリッパ本体から出ているリードケーブルに繰り返しの屈曲や捩じりや引張りが加わらないようしてください。

リードケーブルを固定する場合は、以下の点に注意して固定してください。
 リードケーブル固定後は、ジョーを開閉させても負荷がかからないことを確認してください。



リードケーブルは A の値が 100 mm 以上の位置で固定してください。



リードケーブルを曲げないでください。(断線する可能性があります)

留意

- リードケーブルを根元から 100 mm 以内の位置で固定しないでください。
(リードケーブルが断線する可能性があります。)
- リードケーブルは最小曲げ半径が 50 mm 以上となるように固定してください。
- リードケーブルに引張力が加わらないようにしてください。
(リードケーブルが断線する可能性があります。)